

平成23年度 佐賀県立唐津西高等学校 学校評価計画

<p>1 学校教育目標</p> <p>創立百余年の伝統と歴史を継承し、「21世紀を逞しく生き抜き、国際社会や我が国の発展に寄与するとともに、郷土と自然を愛し、地域社会に貢献できる心豊かな人間の育成」を目標とする。そのため、「知・徳・体をバランスよく向上させることにより、高い人格の形成とこれからの社会の変化に対応できる資質の育成」を目指す</p>
--

<p>2 学校経営ビジョン</p> <p>①生徒と教職員と「師弟同行」のもと一体感をもって、「双松の誓い」の生活信条を達成すべく、自己実現をめざして教育活動に動かしむ ②生徒一人ひとりの進路希望状況に応じた自己実現を目指し、学力の向上とともに個性の理解と伸長に努める(「知」の育成) ③将来において社会貢献ができるよう、社会規範意識、人権尊重、敬愛共同の精神の涵養に努める(「徳」の育成) ④部活動の活性化を図るとともに、心身のバランスが取れた成長を促進し、社会性・協調性の涵養に努める(「体」の育成)</p>

<p>3 本年度の重点目標</p> <p>①自他を正しく理解、判断し、その上で実践する力を発揮することで、地域社会や我が国、ひいては国際社会で貢献する人材を育成する ②生徒一人ひとりの進路希望達成のために、基礎力の涵養に努めるとともに、骨太の人間性を持った人材を育成する ③強い信念と自信のもとに、自己に対しては律する心と命を大切にすることをもち、他者に対して思いやりに溢れた人材を育成する ④教職員は「教育は人にあり」の精神を心に刻み、生徒とともに成長しながら自己研鑽に努め、生徒・保護者・地域社会からの強い信頼と安心を得るように日々の教育活動に積極的に取り組む ⑤本年度の基本テーマを「前進」に置き、日々の実践によって、生徒自身が、教職員個々が、総体として学校そのものが可能性の開花に努める</p>	<p>4 前年度の成果と課題</p> <p>学校の活性化に直接つながる「学年経営」の評価項目は、学校を評価するうえで大いに役立った。各項目の目標設定の妥当性も含め、今年度の課題として捉えたい また、評価を改善に生かすことに重点を置きたい</p>
--	--

5 総括表

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	
学校運営	○学校経営方針	・教育目標、経営ビジョン、重点目標の周知	・重点目標を知っている保護者の割合を70%以上にする	・振興会総会、保護者会、西高だより、HPIにより周知を図る	
	○教職員の資質向上	・生徒の生きる力を育み、進路希望を実現させる力量を目指した自己研鑽	・各教師が設定した自己目標を実現する ・生徒が希望する進路先の情報と入試問題を研究する	・自己目標を設定し、これを申告することで、その達成を目指す	
	○開かれた学校づくり	・体験入学および学校説明会の充実 ・学校行事への保護者の参加率の向上 ・学校開放日における授業参観の実施	・体験入学において、昨年度の参加者数を上回る ・保護者の出席率を70%以上にする ・保護者の授業参観数を100名以上にする	・本校生の活動やホームページを通して、本校の魅力を外部に発信する ・期日や内容を工夫し、参加しやすい計画を立てる	
	○学校事務	・安全で安心できる教育環境の整備	・施設・設備及び工事施工の適正管理を行う	・施設・設備の管理、点検及び補修について早期対応を心がけ、教育環境を充実させる	
	○学年経営	1学年の目標達成	・生活面 ①無遅刻・無欠席を目指す ②提出物100%を目指す	・学習面 ①3学期時点での進路希望未決定者…0人 ②チャイム着席を徹底する ③学習時間の固定を目指す	・学年集会等を通じ、学年目標の「誠実」と「学力」について繰り返し指導を行う ・HRや総合的な学習の時間、面談を活用し、進路意識の育成に努める ・進路希望の実現に必要な学力を、模擬試験での県下順位、全国偏差値等を用いて意識させる
			・生活面 ①社会性を身につけさせる ②基本的な生活習慣を確立させる ③公共心を養成する	・学習面 ①授業を大切に ②家庭学習の量と質をあげる ③課題は必ず提出させる ④県模試1500番以内を50名以上に ⑤模試偏差値55以上を30名、50以上を80名にする	・スケジュール帳を用いて、課題等の提出期限、学校行事のスケジュールを意識させ、自分で管理できるようにさせる。 ・私物への記名を徹底させ、教科書等の貸し借りをさせない。検査の時だけキテンとするのではなく、SHR、授業時から服装について指導する。 ・面談、SHR、進路講演などを通して、2年生という時期にやるべきことを認識させ、平日2時間/休日3時間の学習時間を確保させる。予習-授業-復習-復習のサイクルを確立させ、小テスト、休日セミナー、特課等により学力向上につなげる。
			・生活面 ①遅刻減、チャイム席、提出期限厳守 ②生徒指導措置数…0件	・学習面 ①進路希望達成100% ②授業への集中 ③80%以上が6月前2時間、後3時間の家庭学習 ④国公立大学35名合格	・スケジュール帳を課題提出物の確認・指導を徹底する ・進路希望別のガイダンスの実施(進学・看護・就職・公務員) ・勉強合宿の実施
	教育活動	●学力向上	教科指導の充実	①授業における教師の指導力の向上 ②授業における生徒の理解度の向上	①教師の授業相互見学により、指導方法の工夫と開発に取り組む ②授業アンケートを実施し、生徒の理解度や満足度を数値化する
		○進路指導	進学意識の向上	①進路希望未定者0を目指す ②大学進学希望者の割合を全学年で70%以上に	①面談・進路講演・進路のしおり・進路調査をととして、進路意識の高揚に努める ②家庭学習時間調査を6月、11月に行う
			進路希望の達成と大学進学率の向上	①3年生の進路希望実現100%を目指す ②国公立大合格35名以上、近隣私大100名以上を目指す	①総合的な学習の時間、特課、休日セミナーを実施する ②小論文、面談などの研修、模試成績分析会を設定する
○交通安全教育		交通安全教育の促進	・交通事故ゼロ	・全校集会、ホームルームで日頃より、事故防止を呼びかけ意識を高める ・交通安全講話を実施し、交通安全に対する意識の高揚を図る ・職員の輪番制による登校指導を「唐津西高校前」信号付近で実施	
●健康・体づくり		基本的な生活習慣の確立	・遅刻者数の減少	・学年と協力し、遅刻・欠席者の把握をし、早期対応を図る ・遅刻の多い生徒に対して徹底した指導を行う	
		心と体の自己管理	(各科検診後の受診率を上げる(視力と歯科は昨年度の2割、眼科と耳鼻科は合計で4割)	・学校医と連携を深め、受診勧告及び啓発週間を充実させる ・ハイリスク生徒への個人指導を充実させる	
○保健指導		環境美化の推進	・全校生徒のマイゴミ袋の持参率を90%以上に ・掃除週間での総合評価中のAの割合を7割以上に	・環境美化委員によるポスター作成を今年度も行い、毎学期掃除週間を設けて、環境美化意識の高揚を図る ・日頃から掃除状況を把握し、全体へフィードバックさせる	
		マナー、モラル、規範意識の高揚	・高校生にふさわしい髪型や制服の着こなしをさせる ・挨拶が盛んな学校にする ・入室の仕方や言葉使いなど適切な礼儀作法ができる	・定期的な全体検査で正しい服装、髪型についての意識を高める ・制服着こなしセミナーの実施 ・登校指導や朝の挨拶運動を行い、活発な挨拶を呼びかける ・学校行事のあらゆる機会に正しい礼法や言葉遣いを指導する	
		命の大切さ	・命の大切さについて常に考える姿勢や態度を養うとともに広く人権意識の高揚に努める	命の大切さを学ぶ毎年開催の「ハナコフェア」で、テーマに関連した講義等を実施する	
		校内外におけるボランティア活動の推進	・ボランティア活動の推進	・生徒会で部活動単位のボランティアを推進するとともに、各部の活動計画にボランティア活動を組み込む	
○図書館利用	図書館の利用と読書活動の推進	・年間貸出冊数5,000冊(生徒1人8.5冊)以上を目指し、貸出0の生徒をなくす	・「朝の10分間」読書の推進 ・広報紙「Library」でさまざまな本を紹介し、読書をすすめる		
○部活動	部活動の活性化	・1年生の部活動加入率を100%に近づける ・部活動を通して、学校を活性化させる。	・部編成を2回行い、未加入者の入部を勧める ・部活動の生徒が率先して学校をリードする雰囲気を作る		
特定課題	○自己管理	時間遵守の徹底	・登校から下校に至る時間を、有効に利用する態度を育成する	・遅刻者の状況把握を行い、徹底した指導をおこなう ・5分前行動を常に呼びかけ、チャイムtoチャイムを徹底する	
		スケジュール帳の利用	・スケジュール帳を活用することで学校生活に主体的に取り組む態度を育成する	・効果的に活用されているかの定期的なチェックを行い、現状を確認する	

●は共通評価項目、○は独自評価項目